

あっ消えた！

多彩なマジックに 利用者もビックリ

4月17日、さつま園デイサービスセンターでお笑いマジック（手品）ショーが開催されました。

このマジックショーは、鹿児島市の赤崎治夫さんがデイサービスの利用者のために無償でおこなっているもので、ネタは自分で手作り。さつま園での開催は6回目となります。赤崎さんの話術と軽快な動きに、利用者もつい引き込まれているようでした。

赤崎さんは教育職を退職後この福祉ボランティアを始められ、福祉施設などで年間120回ほど公演しているそうです。

赤崎さんは、「利用者と意思疎通を図りながらゲームと、参加者のリハビリを兼ねて手品をしています。大きな声で笑ってもらえるとうれしいですね」と話していました。

また、さつま園のデイサービス利用者は、現在150名ほどいらっしやいます。

大切な命です STOP 交通事故

4月15日、町内の各小学校で交通安全教室が開催されました。

町内の各小学校は、交通量の多い道路が近くにあり、児童が交通事故に巻き込まれやすい環境にあります。

午前中におこなわれた求名小学校の教室では、腹話術人形と交通ルールを勉強した後、実際に校庭で自動車と人形の衝突実験をおこないました。約40キロに加速された自動車が、ダミー人形を跳ね飛ばし車輪に巻き込むとその衝撃に児童は驚きの声をあげていました。

指導に当たった鹿児島県警察本部の改元交通企画課係長は「車は急には止まれません。命はひとつです。道路には絶対飛び出したり、遊んだりしないでください。」と注意しました。

その後児童は、横断歩道の渡り方を実際に練習し、自転車の乗り方についても学びました。



▲腹話術人形と交通ルールを学ぶ児童

▶利用者も一緒に参加したマジック



火災予防で感謝状

4月8日、火災発生時に初期消火に尽力された中津川の福永ハル子さん、下松八重セツ子さん、手島イクエさん（写真右から順に）に祁答院地区消防組合から感謝状が贈呈されました。

3名は3月12日に発生した建物火災で、バケツリレーで水をかけたりして被害を最小限に食い止めたものです。

同消防組合の鬼塚署長は、「少しの油断が火災を招きま



す。火を取り扱う際は、その場を離れないようにしてください。」と話していました。

かなってほしい願い事

年生の時に剣道部に入りました。一生けん命、二人とも練習しました。そして、しあいに出ることができました。でもわたしは、負けてしまいました。わたしは負けてないでいると、「よくがんばったね。次のしあいに勝てるように、いっしょにがんばろうね。」とはげましてくれました。その時、わたしは友だちについていなく感じました。

求名小四年 熊田紗奈江さん
わたしには、たった一つでいいからかなってほしい願い事があります。それは、本物のまほう使いになることです。まほう使いになって、やさしいけんかをしないまほう使いロボットを作るのです。

そのロボットが絵をかくと、それが本当のことになるので、けんかをなくしたり、地きゅうのしぜんを守ったり、せんそうやじけんのない安全なくらしにしたりするのです。

たった一日でいいから、わたしをまほう使いにしてください。わたしも考えています。